

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	まちづくり施策の総合的な推進			款	05	項	01	目	01	事業	003	整理番号	332
現担当課名	都市整備部管理課			係名	企画調査係			連絡先電話番号	3512		昨年度整理番号	343	
上位施策No・施策名	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備			予算事業区分	既定事業							
事業開始	昭和45年度	実行計画事業	分野	02	施策	05	計画事業	01					
令和6年度担当課名	都市整備部管理課			事業評価区分	一般								

令和6年度 事務事業の概要 (Plan)

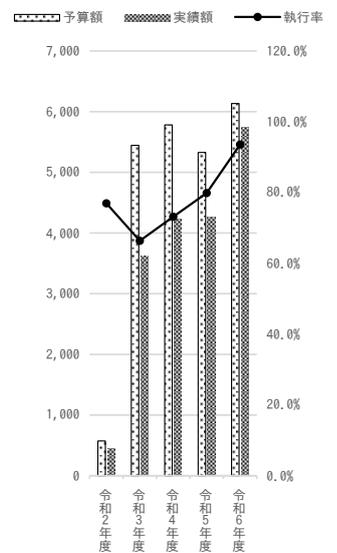
対象	<ul style="list-style-type: none"> ○区 ○区民、区内在勤・在学者 ○杉並区のみまちづくりに係る組織・団体・機関 	根拠法令等	都市計画法第18条の2 杉並区まちづくり条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)		
○杉並区基本構想(10年ビジョン)に示す杉並区の将来像を実現するため、「杉並区まちづくり基本方針(杉並区都市計画マスタープラン)」に基づくまちづくり施策を総合的かつ計画的に推進する。	○都市整備関連施策の総合計画及び国、都等との調整を行う。 ○都市整備に係る情報収集および調査研究を行う。 ○都市整備部内の事業支援を行う。		

指標、総事業費 (Plan・Do)

指標名		指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	まちづくり調整会議の議案数	まちづくり調整会議に付議した議案の件数	件	計画	10	10	10
				実績	13	20	14
				達成率	130.0%	200.0%	140.0%
				計画	-	-	-
				実績	-	-	-
成果指標	「生活環境全般が良い」と思っている人の割合	区民意向調査による	%	計画	95	95	95
				実績	93.7	93.5	95.2
				達成率	98.6%	98.4%	100.2%
				計画	-	-	-
				実績	-	-	-
分類	区民満足度指標						
分類							

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	573	5,445	5,782	5,328	6,134	1,984
		実績額	441	3,614	4,231	4,255	5,739	-
		執行率	77.0%	66.4%	73.2%	79.9%	93.6%	-
人件費	千円	予算額	26,432	13,411	16,686	16,636	13,494	17,112
		実績額	18,744	13,570	19,714	16,993	13,666	-
		執行率	70.9%	101.2%	118.1%	102.1%	101.3%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	3,628	3,675	3,678	3,807	4,643
		実績額	0	3,675	3,678	3,807	4,643	-
		執行率	-	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	27,005	22,484	26,143	25,642	23,435	23,739
		実績額	19,185	20,859	27,623	25,055	24,048	-
		執行率	71.0%	92.8%	105.7%	97.7%	102.6%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-	-
	① 国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-	-
	② その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-	-
	③ 特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-	-
差引：一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	27,005	22,484	26,143	25,642	23,435	23,739
		実績額	19,185	20,859	27,623	25,055	24,048	-
		執行率	71.0%	92.8%	105.7%	97.7%	102.6%	-

事業費の年度推移



特記事項

--

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	高井戸地域交通課題検討業務委託	1	件	5,093
	まちづくり調整会議の議案数	14	件	
	杉並区地域強靱化計画冊子の印刷	1	件	495
	その他 (ソフトウェア、郵券の購入ほか)			151
取組成果	<p>杉並区地域強靱化計画については、被害想定となる都の「首都直下地震等による東京の被害想定」が見直されたことなどから、令和6年3月の時点修正を踏まえた冊子を作成し、周知を行うとともに、令和7年3月に別冊の年次更新を行いました。あわせて、事前復興まちづくりに関する事例収集と研究を行ったほか、職員向け勉強会の開催などにより、事前復興まちづくりに関する方針の策定に向けた取組を本格化させるための準備を行いました。</p> <p>また、中央自動車道高井戸インターチェンジ下り線入口整備に伴う、高井戸地域を中心とした杉並区内の自動車交通量の推計と地域に与える影響を把握するため、高井戸地域交通課題の検討に係る業務委託を行い、入口整備時における対応の検証を行いました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>まちづくり基本方針での新たな取組として掲げる事前復興まちづくりの推進を図るため、令和6年度は他自治体の先行事例の情報収集や研究を通して検討を行ってきたところですが、事前復興まちづくりの取組の推進にあたっては関係所管と密に連携しながら取組を進めることが求められるため、庁内検討体制の構築が必要で</p> <p>また、まちづくり基本方針の運用に当たっては、関係所管が一丸となってまちづくりに関する様々な課題の解決に向けた取組を行う必要があるため、各事業の組織横断的な情報共有や進捗状況の管理を行うことが重要です。</p> <p>高井戸オンランプは、昭和41年の計画決定当時、交通量増加に伴う環境問題などの懸念があり、現在まで未整備となっていますが、近年では整備後の周辺生活道路への車両の流入に対する不安の声がみられます。これを受け、令和5年度から6年度にかけては、高井戸オンランプ開設時に、様々な交通規制を行った場合の周辺生活道路への車両流入状況の推計を行い、その結果を踏まえオンランプ開設時における交通課題への対応の検証を行いました。今後は、関係各署と調整の上、この対応の検証結果を区民にわかりやすく周知する方法について事業者と共有するなど、地域の理解が得られるよう事業者の取組を継続して支援する必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込み含む)	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	都市計画道路公園緑地の案内調整			款	05	項	01	目	01	事業	005	整理番号	334
現担当課名	都市整備部管理課		係名	都市施設担当			連絡先電話番号	3513		昨年度整理番号	345		
上位施策No・施策名	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和43年度		分野	02	施策	05	計画事業						
令和6年度担当課名	都市整備部管理課						事業評価区分	一般					

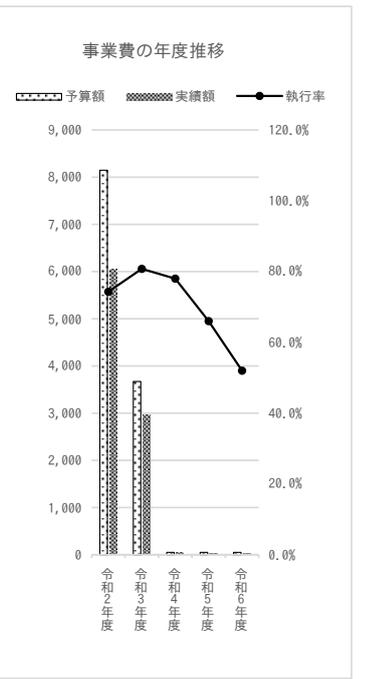
令和6年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	根拠法令等
区民(都市計画道路公園緑地の周辺住民等) 都市計画情報の確認者(建築、不動産関係業者他)	都市計画法 都市計画法施行令
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容(事務事業の内容、やり方、手段)
○都市計画道路・公園・緑地の計画の進捗状況を案内し、都市生活基盤の秩序ある整備を図る。 ○外かく環状道路等の事業に関し、住民の安心・安全を確保した事業となるよう、事業者に対して調整を図る。	○都市計画道路、公園、緑地の計画線の案内や都との調整を行う。 ○都市計画法第65条に基づく許可を行う。 ○外かく環状道路に関する事業者及び沿線区市並びに住民との調整を行う。

指標、総事業費 (Plan・Do)

指標名		指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	「すぎナビ」アクセス件数	「都市計画情報」及び「都市計画施設図」へのアクセス件数	回	計画	125,000	120,000	120,000
				実績	107,300	117,052	126,404
				達成率	85.8%	97.5%	105.3%
活動指標	外かく環状道路に関する検討会等開催回数	説明会やオープンハウス、意見交換会等の開催回数	回	計画	2	2	2
				実績	1	1	2
				達成率	50.0%	50.0%	100.0%
成果指標	区内都市計画道路の完成率	区内都市計画道路完成延長÷区内都市計画道路計画延長	%	計画	49	50	50
				実績	50	50	50
				達成率	102.0%	100.0%	100.0%
分類	行政サービス成果指標						
成果指標	区内都市計画公園緑地の供用率	区内都市計画公園緑地供用面積÷区内都市計画公園緑地計画決定面積	%	計画	57	59	60
				実績	59	60	62
				達成率	103.5%	101.7%	103.3%
分類	行政サービス成果指標						

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	8,147	3,671	50	50	50	159
		実績額	6,053	2,965	39	33	26	-
		執行率	74.3%	80.8%	78.0%	66.0%	52.0%	-
人件費	千円	予算額	17,436	17,006	16,686	12,477	11,719	11,978
		実績額	18,537	17,937	17,967	12,389	13,433	-
		執行率	106.3%	105.5%	107.7%	99.3%	114.6%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	25,583	20,677	16,736	12,527	11,769	12,137
		実績額	24,590	20,902	18,006	12,422	13,459	-
		執行率	96.1%	101.1%	107.6%	99.2%	114.4%	-
財源	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	25,583	20,677	16,736	12,527	11,769	12,137
		実績額	24,590	20,902	18,006	12,422	13,459	-
		執行率	96.1%	101.1%	107.6%	99.2%	114.4%	-



特記事項

予算のすべてが事務費となっており、必要な文具等を精査して購入した結果、予算執行率は52.0%となり、実績額は21.2%の減となりました。なお、令和7年度の予算額が令和6年度に比べ大きく増加している理由は、令和7年秋以降に杉並区への到達が見込まれる外かく環状道路事業について、地域住民への情報提供にかかる経費を新たに計上したことによるものです。

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	都市計画道路・公園緑地の案内にかかる事務用品			26
	その他 ()			0
取組成果	<p>都市計画道路・公園緑地に関する案内業務は「すぎなみまっぷ」「すぎナビ」を適切に運用するほか、区公式ホームページの情報を更新することで着実に実施しています。また、区決定の都市計画道路3路線（補助第63号線・第131号線・第226号線）の計画線に関する図面を区公式ホームページ上に掲載し、利便性の向上を図りました。</p> <p>現在事業中の都市計画道路である外かく環状道路事業については、練馬区方面からの本線シールドマシンが杉並区に接近している中で、調布市での陥没事故を受け、住民から様々な懸念の声が寄せられていることから、国等の事業者に対し、区民の不安や疑問を解消するための説明や意見交換の場の設置、必要な情報の提供を求めるとともに、事業者の対応に協力しました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>区内における都市計画道路の整備事業に対する区民の関心はますます高まっており、地域住民への情報提供、意見や要望への対応については重要性が高くなっています。都市計画道路や都市計画公園・緑地については引き続き「すぎナビ」「すぎなみまっぷ」を活用した情報提供のほか、デジタルツールの活用により窓口での対応を減らすなど更なる利用者の利便性を高めるための対応が求められています。</p> <p>外かく環状道路事業については、練馬区方面からのシールドマシンの杉並区への到達が令和7年秋以降に見込まれる中で、地域住民の疑問や不安の解消のため、国等の事業者に対し、より一層の丁寧な対応や説明の実施や、できる限りの情報の公開を求めていく必要があります。また、事業者が主催する説明会等の開催の支援に留まらず、区として事業者と住民の意見交換の場を設けるなど、基礎的自治体として住民の事業に対する理解を得るための積極的な取組を行う必要があります。</p>
現年度取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込み含む)	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針 (Action)

Ⅰ. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
Ⅰ. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
Ⅱ. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
Ⅱ. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	鉄道連続立体交差化の推進			款	05	項	01	目	01	事業	008	整理番号	337
現担当課名	市街地整備課			係名	鉄道立体係			連絡先電話番号	3379		昨年度整理番号	348	
上位施策No・施策名	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備			予算事業区分	投資事業							
事業開始	平成21年度	実行計画事業	分野	02	施策	05	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度担当課名	市街地整備課			事業評価区分	一般								

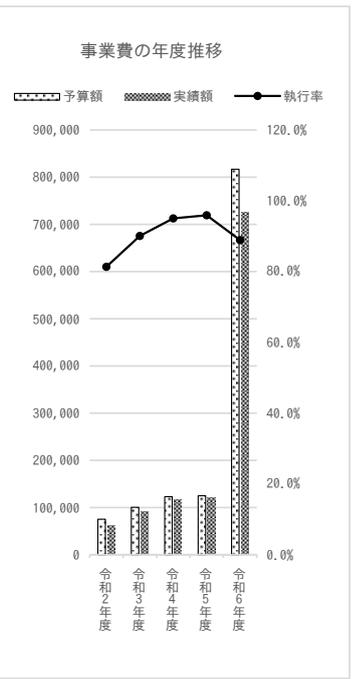
令和6年度 事務事業の概要（Plan）

対象	京王線・西武新宿線沿線住民、まちづくり活動団体	根拠法令等	踏切道改良促進法 杉並区まちづくり条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）		
○踏切除却により交通渋滞や踏切事故を解消するとともに、鉄道により分断されている地域の一体化を図る。また、鉄道連続立体交差事業の推進に取組に合わせて、住民との協働により、安全で利便性の高い沿線のまちづくりを進める。	○沿線まちづくり活動団体を支援する。 ○沿線まちづくり等の検討を行う。 ○東京都、隣接区、鉄道事業者との調整等を行う。 ○地域への情報発信を行う。		

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	沿線まちづくり団体活動支援数	まちづくり協議会への参加・協力等の回数	回	計画	35	35	35	
				実績	44	35	41	
	達成率		125.7%	100.0%	117.1%	-		
	まちづくり庁内検討組織の開催回数	沿線まちづくり等の検討回数	回	計画	6	6	6	
実績				2	1	1		
達成率		33.3%	16.7%	16.7%	-			
成果指標	沿線まちづくり団体活動数	まちづくり協議会や勉強会等の開催数	回	計画	50	50	50	
				実績	44	50	53	
	達成率		88.0%	100.0%	106.0%	-		
	分類	行政サービス成果指標						
関係機関との調整会議開催数	都・沿線区市・鉄道事業者等との連絡調整会議	回	計画	10	10	10	10	
			実績	10	11	17		
			達成率		100.0%	110.0%	170.0%	-
			分類	行政サービス成果指標				

事業費		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	75,271	100,478	123,135	125,002	816,852	278,364
		実績額	61,228	90,494	117,003	119,882	726,115	-
		執行率	81.3%	90.1%	95.0%	95.9%	88.9%	-
人件費	千円	予算額	48,088	47,423	43,294	46,571	46,978	51,336
		実績額	46,586	43,506	40,216	49,560	55,357	-
		執行率	96.9%	91.7%	92.9%	106.4%	117.8%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	123,359	147,901	166,429	171,573	863,830	329,700
		実績額	107,814	134,000	157,219	169,442	781,472	-
		執行率	87.4%	90.6%	94.5%	98.8%	90.5%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-	-
	① 国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	275,000
			実績額	0	0	0	0	275,000
			執行率	-	-	-	-	100.0%
	② その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-	-
	③ 特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	275,000
実績額			0	0	0	0	275,000	
執行率			-	-	-	-	100.0%	
差引：一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	123,359	147,901	166,429	171,573	588,830	324,728
		実績額	107,814	134,000	157,219	169,442	506,472	-
		執行率	87.4%	90.6%	94.5%	98.8%	86.0%	-



特記事項

○予算執行率が88.9%となった主な理由は、京王線連続立体交差事業の用地取得の難航に伴い、工事の進捗も遅れ、建設事業負担金が不用となったためです。
○京王線・西武新宿線連続立体交差事業は、事業主体である東京都が実施しているため、事業主体を活動指標・成果指標に設定することが困難であることから、活動指標・成果指標は、区が行う沿線まちづくりに関するもので設定しています。

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	京王線・西武新宿線連続立体交差事業建設負担金の支出	2	件	113,163
	西武鉄道新宿線沿線交通基盤整備検討業務委託	1	件	7,794
	下井草駅周辺まちづくりワークショップ運営支援業務委託	1	件	2,992
	上井草駅周辺用地測量委託	1	件	3,280
	その他 (井草五丁目用地費 (杉並区画街路第3号線用地費) ほか)			598,886
取組成果	<p>京王線 (笹塚駅～仙川駅間) 連続立体交差事業については、用地取得率が令和6年度末時点で約92%に向上しました。下高井戸駅周辺では、世田谷区と連携して「街づくり懇談会」を3回開催し、地区計画の検討を実施するなど、まちづくりの機運を高めました。また、下高井戸駅北口杉並街区の地権者などから構成される「まちづくり準備会」が14回開催され、まちづくり手法の検討等を行い、区はその活動の支援を行いました。</p> <p>西武新宿線 (井荻駅～西武柳沢駅間) 連続立体交差事業については、上井草駅北口駅前広場等整備事業の用地補償説明会を令和6年12月に開催して、関係地権者の用地買収に関する意向などの把握に努めました。下井草駅周辺まちづくりでは、「(仮称)下井草まちづくりラボ」を6回開催し、学識経験者による講習会や先行事例の視察などを通じて連続立体交差事業や駅周辺のまちづくりを学び、意見交換を行いました。さらに、下井草駅周辺地区まちづくりオープンハウスを2回開催するなど、まちづくりの取組について幅広い方々に周知するとともに意見を聴取しました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>京王線連続立体交差事業は、令和12年度末の事業完了に向け、事業区間約7.2kmにおける全8工区で工事着手しています。このうち杉並区内の第3・6工区では、土留め杭の打設、高架橋の撤去及び本設躯体の構築等の工事を進めています。今後も引き続き、事業主体である都や関係区などに協力し事業を推進するとともに、鉄道付属街路の整備に向けた取組を進めます。</p> <p>まちづくりでは、沿線4駅で各駅周辺地区まちづくり方針を策定し、まちづくりの検討を進めています。近隣区の世田谷区とともに駅周辺の一体的なまちづくりが求められています。特に下高井戸駅周辺地区のまちづくりについては、「まちづくり準備会」の動向に合わせたまちづくりに取り組んでいく必要があります。</p> <p>上井草駅北口駅前広場等整備事業については、西武新宿線 (井荻駅～西武柳沢駅間) 連続立体交差事業とともに令和6年12月に用地補償説明会を開催しました。今後、関係地権者の方などの意向を丁寧に聴き、用地取得に努めていきます。また、事業を契機としたまちづくりへの期待も高まっており、事業やまちづくりの検討の進捗に合わせ、庁内会議の開催やまちづくり協議会の活動が増加することが見込まれます。</p> <p>下井草駅周辺まちづくりについては、西武新宿線 (野方駅～井荻駅間) 連続立体交差事業を見据え、令和6年度より開催している (仮称) 下井草まちづくりラボでのより多くの方々の意見交換を目指して、広報、まちづくりニュースや無作為抽出などを通じて参加者の追加募集を行うとともに、これまでの課題などを整理し、下井草駅周辺のまちづくりの将来像について、地域の方々と研究を進めていきます。</p>
現年度取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込み含む)	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	都市計画道路周辺まちづくり			款	05	項	01	目	02	事業	009	整理番号	347
現担当課名	市街地整備課			係名	沿道のまちデザイン係					連絡先電話番号	3304	昨年度整理番号	
上位施策No・施策名	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備								予算事業区分	既定事業		
事業開始		実行計画事業	分野	02	施策	05	計画事業	03	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和6年度担当課名										事業評価区分	一般		

令和6年度 事務事業の概要（Plan）

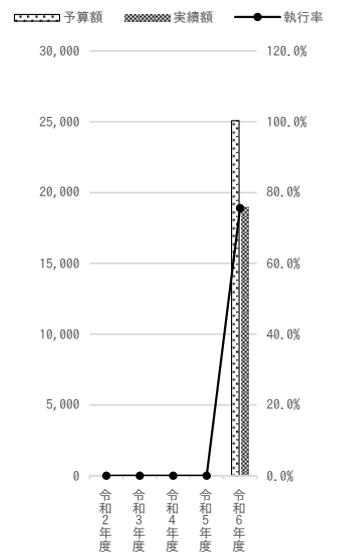
対象	根拠法令等
区民 区内事業者 都市計画道路利用者	都市計画法 杉並区まちづくり条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○まちへの影響が大きい都市計画道路事業を契機として、事業に着手した西荻窪・高円寺地域と、中杉通りの延伸計画がある南阿佐ヶ谷地域の3地域において、参加者が区と共に将来のまちづくりについて考え、協働していく場として（仮称）デザイン会議を開催し、区民が主体的にまちづくりに取り組むことを目指す。	○都市計画道路事業に着手した西荻窪・高円寺地域と、中杉通りの延伸計画がある南阿佐ヶ谷地域の3地域において（仮称）デザイン会議を開催し、会議の進め方や扱いたいテーマについて議論する。 ○3地域別の（仮称）デザイン会議開催に先立ち「はじまりの会」を開催し、会議の進め方や扱いたいテーマについて議論する。 ○（仮称）デザイン会議の検討テーマや進行等については、参加者から選出した運営スタッフと区職員による運営会議において議論したうえで進める。 ○（仮称）デザイン会議の開催案内や報告等の情報は公民連携プラットフォームを活用して発信する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	(仮称) デザイン会議の開催回数	(仮称) デザイン会議及びテーマ部会開催回数の3地域の合計	回	計画	-	-	8
				実績	-	-	7
				達成率	-	-	87.5%
				計画	-	-	-
				実績	-	-	-
				達成率	-	-	-
成果指標	(仮称) デザイン会議の参加人数	(仮称) デザイン会議参加者の3地域での延べ人数	人	計画	-	-	610
				実績	-	-	448
				達成率	-	-	-
				計画	-	-	-
				実績	-	-	-
				達成率	-	-	-
分類	行政サービス成果指標						
分類							

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	-	-	-	-	25,073	40,664
		実績額	-	-	-	-	18,962	-
		執行率	-	-	-	-	75.6%	-
人件費	千円	予算額	-	-	-	-	51,336	-
		実績額	-	-	-	-	52,020	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	-	-	-	-	25,073	92,000
		実績額	-	-	-	-	70,982	-
		執行率	-	-	-	-	283.1%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	-	-	-	-	-
			実績額	-	-	-	-	-
			執行率	-	-	-	-	-
	① 国・都からの補助金	千円	予算額	-	-	-	-	-
			実績額	-	-	-	-	-
			執行率	-	-	-	-	-
	② その他の補助金等	千円	予算額	-	-	-	-	-
			実績額	-	-	-	-	-
			執行率	-	-	-	-	-
	③ 特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	-	-	-	-	-
			実績額	-	-	-	-	-
			執行率	-	-	-	-	-
差引：一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	-	-	-	-	25,073	92,000
		実績額	-	-	-	-	70,982	-
		執行率	-	-	-	-	283.1%	-

事業費の年度推移



特記事項

○（仮称）デザイン会議の開催回数の達成率が87.5%となった理由は、南阿佐ヶ谷地域の次回開催内容を決める「運営会議」において、開催内容の検討に時間を要し、第2回開催を見送ることとしたためです。
○予算執行率が75.6%となった主な理由は、（仮称）デザイン会議運営支援業務委託における落札差金による費用減少によるものです。

内 容		規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	(仮称) デザイン会議運営支援	2	件	16,855
	(仮称) デザイン会議説明会運営支援・進行管理	2	件	601
	(仮称) デザイン会議ニュース等配布業務	3	件	589
	(仮称) デザイン会議説明会動画撮影等業務委託	1	件	467
	その他 (事務用品の購入ほか)			450
取組成果	<p>3地域別の「(仮称)デザイン会議」開催に先立ち「はじまりの会」を開催し、「(仮称)デザイン会議」の進め方や扱いたいテーマについて議論しました。参加者からいただいた意見を踏まえて会議の討議テーマ等の開催内容を検討し、西荻窪・高円寺地域で3回、南阿佐ヶ谷地域で1回開催しました。会議では主に、まちの課題や解決策のアイデア出しを行い、様々な考えを共有し合いながら、令和7年度以降の具体的な取組につながる議論を進めました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>(仮称) デザイン会議では、参加者間でまちの将来像を考え共有し、実現に向けた取組を区民主体で実施していくため、令和6年度はまちの課題や解決策のアイデア出しを行い、様々な考えを共有しながら議論を深めてきました。</p> <p>住民主体のまちづくりを掲げ、これまでの計画説明型から対話協調型へと移行していることは、一部の参加者には理解されているものの、参加者のまちづくりに対する主体性の向上は、今後の課題となつていきます。これに対し、(仮称)デザイン会議の開催内容を、参加者から募集した運営スタッフとともに運営会議において議論しながら進めるなど、区民が会議開催までのプロセスへ関与する機会を作ることで主体性の向上を図っています。</p> <p>また、都市計画道路事業が契機となつているため、依然として事業への疑問や不安の声も出ており、事業への住民理解が十分に得られていない状況です。さらに、(仮称)デザイン会議の趣旨や目的が十分に共有できておらず、参加者間において本会議に対する認識のずれが生じている状況となつていきます。そのため、(仮称)デザイン会議の趣旨を丁寧に説明し続けるとともに、行政が持つ正確な情報を積極的に提供することや、有識者による講演会の開催などを通じて、道路事業やまちづくりを区民と共に学ぶ機会をつくり、皆が正しい知識・情報をもとに議論できるようにしていきます。加えて、地域の課題解決や地域への様々な思いを実現するため、(仮称)デザイン会議内にテーマ部会を設置し、個別具体的な取組を実施していく仕組みづくりを行います。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込み含む)	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	私道整備助成			款	05	項	03	目	01	事業	005	整理番号	379
現担当課名	杉並土木事務所			係名	私道整備担当係			連絡先電話番号	内線番号4634		昨年度整理番号	388	
上位施策No・施策名	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備			予算事業区分	投資事業							
事業開始	昭和39年度	実行計画事業	分野	02	施策	05	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度担当課名	杉並土木事務所			事業評価区分	一般								

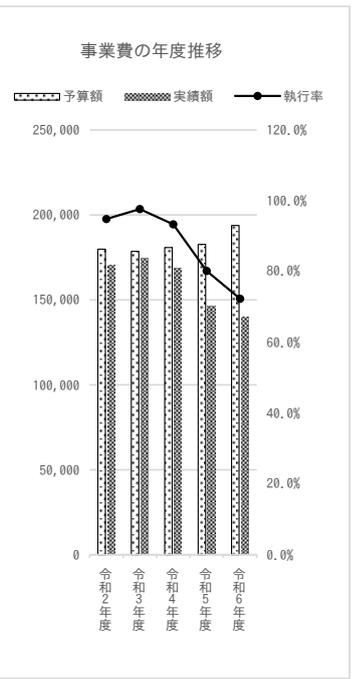
令和6年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
私道管理者、沿道住民及び私道排水設備利用者	杉並区私道の整備等に関する条例 杉並区私道の整備等に関する条例施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区民の私道通行における交通の安全、生活環境の整備及び公衆衛生の向上を図る。	○私道の所有者等からの申請に基づき、民間の登録事業者により行った舗装等整備工事や排水設備工事に要した工事費の助成を行う。 ○私道の所有者等からの申請に基づき、区が雨水桝の清掃を行う。 ○助成申請については年間を通じて随時受け付けているほか、必要に応じ、現地において私道の所有者等に助成制度の説明を行っている。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	舗装等整備工事の助成件数		件	計画 20 実績 21 達成率 105.0%	20 20 100.0%	20 15 75.0%	20 - -
	排水設備工事の助成件数		件	計画 15 実績 9 達成率 60.0%	15 17 113.3%	15 10 66.7%	15 - -
	舗装等整備工事助成による施工面積	舗装等整備の実績面積	m ²	計画 6,000 実績 3,279 達成率 54.7%	6,000 1,692 28.2%	6,000 1,874 31.2%	6,000 - -
成果指標	分類 行政サービス成果指標						
	排水設備工事助成による施工延長	排水管の実績延長	m	計画 400 実績 116 達成率 29.0%	400 357 89.3%	400 226 56.5%	400 - -
	分類 行政サービス成果指標						

事業費		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	179,846	178,575	180,799	182,652	193,776	193,767
		実績額	170,573	174,386	168,773	146,452	140,141	-
		執行率	94.8%	97.7%	93.3%	80.2%	72.3%	-
人件費	千円	常勤職員分(再任用含)	予算額 8,718 実績額 8,503 執行率 97.5%	8,503 8,426 99.1%	8,343 8,318 99.7%	4,981 5,123 102.9%	0 5,110 -	4,278 -
		上記以外の職員	予算額 3,080 実績額 3,628 執行率 117.8%	3,628 0 0.0%	0 0 -	0 0 -	0 9,286 -	9,286 -
		総事業費(事業費+人件費)	予算額 191,644 実績額 182,704 執行率 95.3%	190,706 182,812 95.9%	189,142 177,091 93.6%	187,633 151,575 80.8%	193,776 154,537 79.8%	207,331 -
財源	千円	受益者負担分	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
		① 国・都からの補助金	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
		② その他の補助金等	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
	千円	特定財源(①+②+③)	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
		差引：一般財源(総事業費-特定財源)	予算額 191,644 実績額 182,704 執行率 95.3%	190,706 182,812 95.9%	189,142 177,091 93.6%	187,633 151,575 80.8%	193,776 154,537 79.8%	207,331 -



特記事項

私道整備助成については、例年並みの相談件数（約80件）がありましたが、関係者全員の合意形成が整わなかったことにより、申請件数が低かったことが執行率に影響しています。
活動指標については、「舗装等整備工事」と「排水設備工事」の助成件数に変更し、成果指標については、「舗装等整備工事」と「排水設備工事」の実施規模に変更しました。

内 容		規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	舗装等整備工事助成 (透水性舗装含む)	1,874	m ²	111,652
	排水設備工事助成	226	m	28,039
	雨水柵清掃請負	84	個	393
	その他 (需用費等)			57
取組成果	<p>私道所有者等からの申請に基づき、舗装等整備工事や排水設備工事の助成を15件行いました。この助成で老朽化した舗装 (1,874m²) 及び排水管 (226m) の改修等を行ったことにより、私道における交通の安全確保や生活環境の向上に寄与しました。</p> <p>また、広く助成制度を活用していただくため、現地における私道所有者等に向けた説明を行うなど、周知に努めました。</p> <p>雨水柵清掃については、私道所有者等からの申請に基づき、区で清掃を実施したことで、公衆衛生の向上を図りました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>杉並区内の私道においては、昭和40年代ごろより公共下水道の普及に伴い、排水設備の整備や路面の舗装化が進められてきました。地中に埋設されている下水道管や排水管の標準耐用年数は50年とされている中、私道に埋設されている下水道管等の排水設備は敷設から50年を経過しているものが多く、施設の劣化を原因とした陥没が増加していくことが見込まれます。また、近年は公共性が高い通り抜けの私道よりも幅員の狭い行き止まりの私道に対する助成が多い傾向であることから、助成制度のあり方を見直す必要があるほか、区が進めている狭あい道路拡幅整備事業と連携を図りながら事業を進めていく必要があります。</p> <p>助成の申請に当たっては、私道の所有者や隣接する土地所有者等の合意が必要となるため、所有者が多数いる路線については、関係者の合意に至るまでに多くの時間を要する場合があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込み含む)	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	道路の路面改良			款	05	項	03	目	01	事業	008	整理番号	382
現担当課名	土木計画課			係名	施設整備グループ			連絡先電話番号	3 4 2 9		昨年度整理番号	391	
上位施策No・施策名	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備			予算事業区分	投資事業							
事業開始	昭和28年度	実行計画事業	分野	02	施策	05	計画事業	04	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和6年度担当課名	土木計画課			事業評価区分	一般								

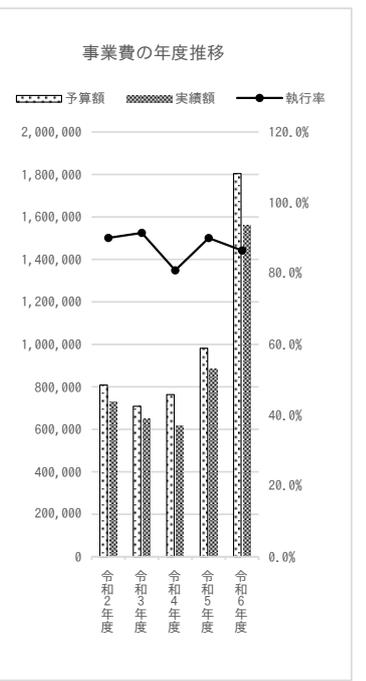
令和6年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
車両・歩行者・沿道住民等道路の利用者	地方自治法第281条 道路法第16、42条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○計画的に道路の修繕工事を行うことで良好な状態を保ち、歩行者の安全性と快適性の向上及び車両の円滑な通行を図る。 ○車両による騒音・振動等を低減し、沿道住民の居住環境を改善する。	○定期的な調査により道路の状態を把握し、計画的に在来道路の舗装及び側溝などの修繕工事を行う。 ○雨水流出抑制対策の取組として、生活道路の透水性舗装化、雨水ますの浸透化を行う。 ○気候変動対策の取組として、路面の温度上昇を抑制する遮熱性舗装及びCO ₂ 排出量の削減に寄与する低炭素（中温化）アスファルトを使用した舗装修繕を行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	道路の整備工事実施箇所数		箇所	計画	23	24	44	44
				実績	21	24	43	-
				達成率	91.3%	100.0%	97.7%	-
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
成果指標	道路の整備面積（㎡）		㎡	計画	30,000	30,000	48,000	48,000
				実績	26,517	34,109	48,324	-
				達成率	88.4%	113.7%	100.7%	-
				計画	16,094	16,293	16,752	17,290
				実績	16,035	16,279	16,817	-
達成率	99.6%	99.9%	100.4%	-				
分類	行政サービス成果指標	昭和58年からの累計値	m ³ /h	計画	16,094	16,293	16,752	17,290
実績	16,035			16,279	16,817	-		
達成率	99.6%			99.9%	100.4%	-		
分類	行政サービス成果指標							

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	808,508	708,408	763,546	981,795	1,804,061	2,052,842
		実績額	728,244	648,123	617,757	883,969	1,560,762	-
		執行率	90.1%	91.5%	80.9%	90.0%	86.5%	-
人件費	千円	予算額	31,408	34,962	43,384	44,085	47,296	48,341
		実績額	34,721	38,057	46,664	47,212	50,224	-
		執行率	110.5%	108.9%	107.6%	107.1%	106.2%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	839,916	745,184	808,768	1,027,719	1,853,261	2,103,505
		実績額	762,965	688,018	666,260	933,085	1,613,308	-
		執行率	90.8%	92.3%	82.4%	90.8%	87.1%	-
財源	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
① 国・都からの補助金	千円	予算額	4,500	1,000	3,500	9,000	2,500	0
		実績額	4,010	1,000	2,850	3,651	881	-
		執行率	89.1%	100.0%	81.4%	40.6%	35.2%	-
② その他の補助金等	千円	予算額	217,728	133,110	141,995	157,973	323,837	323,837
		実績額	215,934	175,061	161,150	178,866	415,105	-
		執行率	99.2%	131.5%	113.5%	113.2%	128.2%	-
③ 特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	222,228	134,110	145,495	166,973	326,337	323,837
		実績額	219,944	176,061	164,000	182,517	415,986	-
		執行率	99.0%	131.3%	112.7%	109.3%	127.5%	-
差引：一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	617,688	611,074	663,273	860,746	1,526,924	1,779,668
		実績額	543,021	511,957	502,260	750,568	1,197,322	-
		執行率	87.9%	83.8%	75.7%	87.2%	78.4%	-



特記事項

令和6年度は実行計画における道路整備面積を1.6倍としたことから、前年度より事業費増となりました。執行残の主な理由は工事落札差金によるものです。
令和6年度から令和7年度への工事請負費繰越額は¥35,200千円です。
工事請負費に係る債務負担設定額は¥474,000千円、期間は令和5年度から令和6年度です。

内 容		規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	路面改良工事	48,324	m ²	1,222,014
	透水性舗装等浸透施設整備	6,469	m ²	290,083
	遮熱性舗装工事	650	m ²	10,478
	道路測量委託	4,210	m	16,783
	その他 (取付管調査委託ほか)			21,404
取組成果	<p>路面改良工事は、令和6年度から実行計画における道路整備面積を1.6倍とし、26件(43路線)の工事を行いました。工事整備か所数の増加と併せて透水性舗装の整備面積を2倍とし、雨水ます浸透化整備も含めて雨水流出抑制対策を促進するとともに、気候変動対策として遮熱性舗装、CO₂排出量の削減に寄与する低炭素(中温化)アスファルト舗装材の活用に取り組みました。国が進める建設業の生産性向上等に資する工事閑散期(1~3月)の工事発注は、令和5年度から件数を増やし6件実施しました。</p> <p>路面改良工事の件数は増加しましたが、令和5年度に試行実施した業務効率化のための概算数量発注方式を本格導入し、限られた人員で設計業務に対応することができました。</p> <p>また、路面改良工事を効率的・計画的に進めるため、令和5年度に実施した路面性状調査の結果を基に今後の修繕対象路線を選定しました。</p> <p>その他、区民がスマートフォン等を通じて道路等の陥没・損傷等を通報できる道路損傷等投稿システムを導入し、区民との協働による道路等の維持管理に取り組みました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>令和6年度からの実行計画では、道路舗装白書で将来的に良好な状態を保つために必要とされる整備面積を48,000m²/年としました。発注件数及び業務量の増大にこれまでの職員数で対応する必要があり、概算数量発注方式の本格導入を行い、設計業務の効率化を図りました。今後は、円滑な設計及び工事施工に向けて、設計業務のブラッシュアップ、監督部署や請負者との認識の共有等の調整を進めていく必要があります。</p> <p>その他、工事を担う事業者からは、これまで取り組んできた1~3月の工事閑散期の工事発注より更に時期を早めた発注を望む声もあり、工事発注の平準化に向けた更なる取組を検討していきます。</p> <p>また、令和6年度より、全ての工事で低炭素(中温化)アスファルト舗装材を使用する仕様で発注を行いました。寒冷期の施工等に支障が生じる状況が見られたことから、材料メーカーや他自治体へのヒアリングを行い、使用時期等について検討を進めます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	都市計画道路の整備			款 05	項 03	目 01	事業 010	整理番号	384
現担当課名	土木計画課			係名 施設整備グループ			連絡先 電話番号	昨年度 整理番号	393
上位施策No・施策名	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備			予算事業区分			投資事業	
事業開始	平成2年度	実行計画事業	分野 02	施策 05	計画事業 03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和6年度 担当課名	土木計画課			事業評価区分			一般		

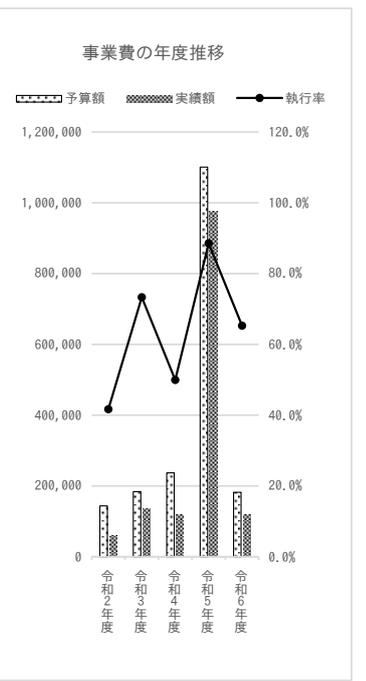
令和6年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
都市計画道路利用者（車両運転者及び歩行者、沿道住民等すべてを含む）	都市計画法第59条 道路法第16条第1項
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
<ul style="list-style-type: none"> ○都市における人や物の円滑な移動を確保する。 ○都市環境や防災の面で良好な都市空間を形成する。 ○区民の生活を支えるライフラインや公共交通の取容空間を確保する。 ○無電柱化、バリアフリー等により、誰もが安心・安全に利用できる道路を整備する。 	○東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）に基づき、区施行の優先整備路線について事業化を進める。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	補助132号線の用地取得率（面積）	事業用地買収面積（累計・実績）÷事業用地面積（計画）		計画	34	33	42
				実績	14.2	23.5	28.5
				達成率	41.8%	71.2%	67.9%
活動指標	補助221号線の用地取得率（面積）	事業用地買収面積（累計・実績）÷事業用地面積（計画）		計画	-	4.5	12
				実績	-	4.1	5.1
				達成率	-	91.1%	42.5%
成果指標	区内の都市計画道路完成率	都市計画道路の整備延長（実績）÷計画延長（計画）		計画	84,460	84,460	84,460
				実績	42,455	42,455	42,455
				達成率	50.3%	50.3%	50.3%
分類	社会成果（課題）指標						
分類				計画	-	-	-
				実績	-	-	-
				達成率	-	-	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	143,671	184,033	237,026	1,100,685	182,083	969,972
		実績額	59,884	134,924	118,395	974,488	118,849	-
		執行率	41.7%	73.3%	50.0%	88.5%	65.3%	-
人件費	千円	予算額	26,851	29,931	71,416	65,372	58,928	60,130
		実績額	29,590	68,329	73,864	68,151	61,515	-
		執行率	110.2%	228.3%	103.4%	104.3%	104.4%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	170,522	213,964	308,442	1,166,057	241,011	1,030,102
		実績額	89,474	203,253	192,259	1,042,639	180,364	-
		執行率	52.5%	95.0%	62.3%	89.4%	74.8%	-
財源	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
① 国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	156,750	10,450	-
		実績額	0	0	0	156,750	10,450	-
		執行率	-	-	-	100.0%	100.0%	-
② その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
③ 特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	156,750	10,450	-
		実績額	0	0	0	156,750	10,450	-
		執行率	-	-	-	100.0%	100.0%	-
差引：一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	170,522	213,964	308,442	1,009,307	230,561	1,030,102
		実績額	89,474	203,253	192,259	885,889	169,914	-
		執行率	52.5%	95.0%	62.3%	87.8%	73.7%	-



特記事項

令和6年度の物件調査及び補償算定業務委託費の一部を令和7年度に繰越しました。
 活動指標(1)(2)については、事業進捗を示すため、現在事業中の2路線における用地取得率（面積）とする目標値に変更しました。
 活動指標の変更に伴い、成果指標は区内の都市計画道路完成率のみに変更しました。
 令和6年度の事業費が前年度よりも低くなった理由は、都市計画道路の事業用地取得費が減ったためです。
 用地折衝は地権者等関係権利者の諸般の事情、生活再建を第一に考え、丁寧に進めていく必要があるため、活動指標の達成率や事業費の執行率に大幅な差が生じています。

内 容		規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	物件調査・補償算定等業務委託他	14	件	44,748
	事業用地取得	1	区画	22,660
	事業化方針検討委託	1	件	19,635
	電線共同溝設計委託	1	件	5,280
	その他 (暫定整備工事・事務用品の購入ほか)			26,526
取組成果	<p>令和6年度末の都市計画道路事業用地の取得率は面積ベースで、西荻窪の補助第132号線が28.5%、高円寺の補助第221号線が5.1%となりました。</p> <p>また、都市計画道路の役割や整備した場合の効果を分かりやすく区民に知っていただくため、未整備の都市計画道路について、区独自の指標に基づき検証を行ったほか、現在事業中の西荻地域と高円寺地域、都事業である中杉通りの延伸計画がある阿佐谷地域それぞれを整備した場合の効果のうち、定量化が可能な項目について可視化しました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>都市計画道路は、多様な機能を有する都市を形成する最も基本的なインフラであり、人や物の円滑な移動のほか、災害時には避難路や延焼遮断帯としての機能を備えています。そのため、首都直下地震等の大規模災害に備え、災害に強い都市基盤施設の整備を着実に進める必要があります。</p> <p>区内の都市計画道路完成率は現在約50%であり、23区中20番目と他区と比べて低い状況となっています。すでに事業着手している路線については、用地取得にむけた折衝を丁寧に進めることで着実に用地取得は進んでいますが、事業に対する地域住民の理解が十分に得られているとは言えない状況です。</p> <p>都市計画道路のようなまちづくりに大きく影響する事業では、様々な意見や立場の違いがあるため、対話を通じてまちの課題を共有し、できる限りの合意を得て進めていく必要があります。そのため令和6年度は、区民との新たな対話の場として「(仮称)デザイン会議」が設置され、区民と共にまちの課題を共有し、将来のまちづくりに向けた取組を開始しました。行政が提供する正確な情報の上で区と区民、区民同士が対話を通じて議論しながら、まちづくりに取り組んでいく必要があります。</p> <p>東京の都市計画道路は、おおむね10年間で優先的に整備する路線を定めた「事業化計画」を策定し計画的、効率的に整備を進めている。現事業化計画の計画期間が令和7年度までとなっていることから東京都及び関係自治体と共に検討を進め、令和7年度末の策定を目指します。策定に当たっては、都市計画道路の必要性や整備効果を広く伝えていくために、説明会等を開催し、行政が持つ正確な情報を積極的に提供していく必要があります。</p>
現年度取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込み含む)	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力